

## 保険の事始めパート1

### ■ 保険は『何のために』あるのでしょうか？

皆さん方、日常生活の中で、「もしかしたら？」と漠然とした不安を感じることがありませんか？不安の大きな要素に「お金が」がつきものです。

そんな「お金」の心配を払拭できる制度が、正に「保険」です。

①病気②ケガ③介護④死亡⑤老後の不安⑥交通事故の不安⑦火事への不安など。

これらに備える保険が「生命保険」「損害保険」です。

### ■ 保険には『どんな役割』があるのでしょうか？

「保険」には、みんなであらかじめ少しずつお金を出し合い、その中から誰かが困った時に、お金を支払う役割があります。「保険」は助け合い、すなわち相互扶助ともいわれます。

### ■ 「生命保険」はあらかじめ受け取れる「お金」が決まっているので、万が一の場合、必要なお金を用意できるのが最大のメリットです。

生命保険に比べて、「預貯金」は少しずつ貯めていくので、万が一の場合十分な金額を用意できない可能性があるのがデメリットです。「生命保険」に匹敵して有り余る「大金」を所持している人は、「生命保険」の必然性がないかも知れません。しかし現実には、お金の有効な使い方を考慮している「大金持ち」は、ほとんどの方が「生命保険」の加入者と言われております。

### ■ 生命保険を選ぶときは、何から考えればよいのでしょうか？

普段、家計のバランスは「収入」と「支出」のとれております。しかし世帯主に万が一の事があれば、収入が激減して、バランスが崩れます。

「バランスが崩れる危機状態」に必要な不可欠なお金を補うもの。家族がどんな場面でお金に困るのかを、考える行為が「生命保険」選びの第一歩です。

この時に「お金」が困らない方々は「生命保険」とは無縁かもしれません。

### ■ 「生命保険」の選択基準はどうしたらよいのでしょうか？

お金が必要なのは果たして？

「どんな時」⇒①死亡②病気・ケガ③老後④介護

「いくら」⇒①家族の生活費②入院費用③老後の生活費④介護費用

「いつまで」⇒①子供が成長するまで②公的年金をもらうまで③一生涯

エコー保険(株)

コラムニスト 松浦 則雄